



うおっち Watch

発行:湖西中学校区園小中+高一貫教育推進委員会 担当:地域連携部会

<タイトルの「うおっち」には18年間の育ちを「地域でWatch(見つめる)」という意味を込めています。>

高島市の小中一貫教育の目標は、「子どもの発達段階と学びの連続性を重視して、確かな学力と豊かな人間性、たくましい心身を育てること」とされており、昨年度に引き続き、今年度も湖西中学校区5つの校園は、「つながりの中で たくましく学ぶ子どもの育成」をめざすとともに、子どもたちには、接続期の段差を乗り越える力を育みたいと考えております。

研究主題は、『18年間の子どもの発達段階を意識した「育ち」と「学び」のつながりを重視した教育の実践』ということで、5つの部会(裏面参照)を編成し、取組を進めております。

一方、今年度と次年度の2年間、新旭南小学校区においては、「学びに向かう力推進事業(幼保小連携)」の研究指定を受けており、その取組や実践を、湖西中学校区の園から小、小から中、中から高への接続期において、今まで培ってきた子どもの育ちや学びが途切れることなくつながり、更に発展・深化していくための基盤にしたいと考えております。

保護者、地域の皆さま方には、引き続きご理解ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

【縦のつながり】

園・小・中・高の教員が一堂に会して、新旭の子どもたちの「育ち」と「学び」における良さと課題について協議する。また、各校園の特色を生かしながら、共通の指導内容を考えたり、課題解決に向けての実践を積み重ねたりすることで、正しく判断し、たくましく生きる子どもを育成する。

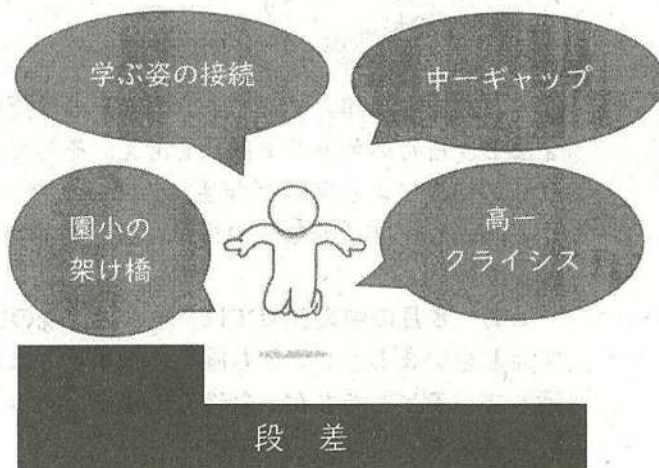
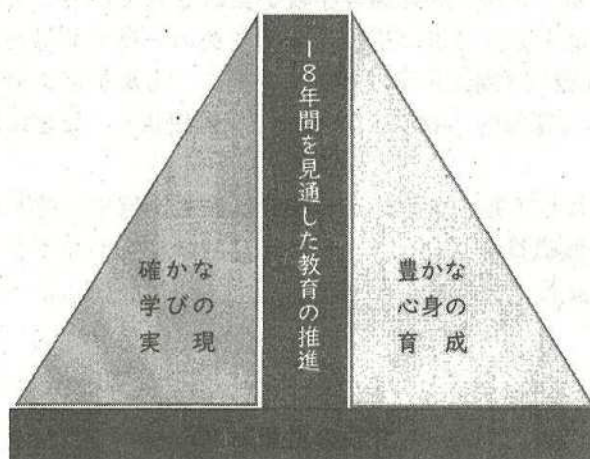
【横のつながり】

湖西中学校区各校園は、保護者・地域の皆様と深く関わり、大きな支えを得ながら教育活動を展開してまいりました。今年度も、保護者・地域の皆さまとつながり響き合いながら、教育活動のさらなる充実を図り、適切な指導支援により子どもたちを導く。

▲ 地域連携を土台とした18年間を見通した学びと育ち

令和6年度 取組の重点

発達段階における接続期の『段差』とその課題 ▼



接続域の育ちと学びの「段差」の明確化とその段差を滑らかにするための方策とその実践

学びに向かう力推進事業(幼保小連携)の取組の紹介

現在、本校の幼小連携加配教員が園のほうへ出向き、保育への参画、準備、打合せ等しながら「学びのサイクルを意識した保育と授業づくり」の研究を進めています。本校教員の保育参加、園からの授業参観等から互いの子どもの姿を理解し、「心が動く体験を通して自分の思いをもち主体的に取り組む子」を期待する子ども像として保育、授業づくりに取り組み、園小の「架け橋期」に、どのような教育課程を編成していくのかを熟議しております。

湖西中学校区園小中+高一貫教育推進委員長 前田代志美(新旭南小学校長)

保幼小部会

今年度は、『学びに向かう力』の育成につながる内容や方法に取り組んでいきたいと考えています。

昨年度までも取り組んできた相互理解の内容から一歩進み、互いの保育・授業に実際に参画していきます。具体的には指導案や日案を事前に協議したり、園内研や校内研の機会を利用して実際に子ども達の様子をみたり、指導案の思いや願いを理解したりしていきたいと思っています。

また、『幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿』を指標として、幼児期に育った力を分かりやすく伝え、小学校1年生が0からのスタートではなく、園で付けた力を踏まえて小学校教育が円滑に行われるようにできればと思っています。そのためにも園では保育者がどのように環境を整え関わるのか、また、小学校では教師が限られた時間や環境の中でどのような関わりができるかという考えを深め、子ども達の姿の共通理解のもと、保育・教育の充実を図っていききたいです。

小中部会

【育ち】

学び・育ち部会では、湖西中学校区の園・校が同じ方向性で子どもたちを育てていきたいと考えています。各園・校の現状を共有し、そこから学習規律や生活のルール・マナー、周りの人との関わり方を、方向性の柱として設定しました。現在は、各園、各学校の実態に応じて、この柱について意識や力が高まるように実践しているところです。ゆくゆくは、湖西中学校区のスタイルとして提示できるようにしていきたいと考えています。

【授業】

6年生にとって中学校への進学は、期待を膨らませると同時に不安も覚えます。本グループでは、小6と中1の接続期における「段差」や「不安」を少しでも軽減させるために、中学校から各校小6への出前授業(11月6日実施予定)や中学校での両校合同の授業体験・部活動体験(11月29日予定)を軸とした交流を行います。

中高部会

今年度、中高部会では、中学生やその保護者の皆さまが、地元高等学校が実践されていることに魅力を感じ、自らのキャリア形成を考え、そして、目標をもって進路選択をするための一助とするため、①高校の先生による中学2年生への出前授業 ②高校生(湖西中学校卒業生)とのパネルディスカッション ③湖西中学校卒業生の授業参観や中高の教員の懇談等(中学3年生への情報提供) などに取り組めます。

6月・8月の中高部会では、中高の接続の課題として基礎学力の定着と基本的生活習慣の確立について話し合いました。こども園から高等学校までの教職員がつながり、18年間の学びをつなぐこと等を通して、子どもたちが、自己肯定感を高めつつ、成長に合わせたキャリア形成をしていけるよう導きたいと考えています。

地域連携部会

地域連携部会では、情報収集・情報発信を通して地域と連携し、子どもたちの「確かな学びの実現」と「豊かな育ちの育成」を支える土台となっていけるように、次の活動に力を入れていきます。

- ① 広報誌「うおっち」の発行・・・小中一貫教育の各部会の取組や、各校園での活動などを発信します。
- ② 新旭地区行事カレンダーの作成・・・保護者の皆さまや地域の皆さまに、各校園での取組を把握していただくために、行事カレンダーを作成し、配布します。
- ③ 学校地域連携カリキュラムの作成・・・各校園で作成している「学校地域協働活動のカリキュラム」を持ち寄り、各校園のつながりを意識した一覧表を作成し、ボランティアの皆さまの支援を受けられる場面を模索しながら、カリキュラムのブラッシュアップを図ります。